執筆者紹介（掲載順）

執筆者　　①職位（所属）、②専門分野、③主な担当科目、
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

芳賀　浩一　①准教授（国際人文学部国際文化学科）
②欧米の文学批評理論と近現代日本文学で現在はエコクリティシズムを中心に研究。
③比較文学、日本文化論、Japanese Thought and Behavior 等。
④最近の論文に「東日本大震災から読む佐伯一麦の『還れぬ家』」（『文学と環境』第 18 号、2015 年）、「自然への欲望と近代－大江健三郎による『同時代ゲーム』から『M/T と森のフシギの物語』への書き換えと自然の位相の変化」（共著『文学から環境を考える』勉成出版、2014 年）等がある。

魚住　明代　①教授（国際人文学部国際文化学科）
②家族社会学、ジェンダー論
③「グローバル社会とジェンダー」「女性とキャリア形成」ほか
④共著『21 世紀の家族さがし』（増子勝義編著、学文社、2011 年、第５章）翻訳『縮減する社会』（F.X. カウフマン著、原書房、2011 年、共訳者：原俊彦）。地域活動：千葉県男女共同参画推進懇話会教育部会副部会長。